

魚の城下町

みんなが主役のまち

「最高学年を筆頭に受け継がれる伝統行事」

～高校生による知床開き豊漁の舞で会場を魅了～



平成30年度

羅臼町防災訓練が終了しました

6月13日(水)に羅臼町防災訓練を実施致しました。訓練当日は雨上がりで天候は良くありませんでしたが、予定どおり訓練を行うことが出来ました。

この訓練は町民の皆さん周知の防災訓練となっておりませんが、1年に一度行う事で、地震・津波災害に対する意識の向上や災害時における家庭での備えを再確認する目的をもって実施しております。



町民の4人に1人以上が訓練に参加

今年も町内会をはじめ、各小中学校、羅臼高校、幼稚園や福祉関係事業者、羅臼町商工会、羅臼漁協のほか、一般企業の参加を頂き、町民の26%、1,323名がシェイクアウト訓練や避難訓練を実施致しました。



小学校のシェイクアウト訓練で机の下に身を隠す児童



避難訓練で職員の指示に従い避難している福祉施設利用者



関係機関も災害時の情報伝達を確認

役場を含めた、羅臼海上保安署、陸上自衛隊第302沿岸監視隊、羅臼駐在所、羅臼漁協、知床らうす国保診療所、羅臼消防署の関係機関による訓練では大津波警報発令に伴う注意喚起及び情報伝達訓練を実施致しました。

このほかにも、町内で被害が発生したことを想定し、役場職員の対応方法や羅臼消防署と知床らうす国保診療所による負傷者受入訓練なども実施致しました。

今回ご参加された方々、ご協力をいただきました関係機関の皆様、大変ありがとうございました。



図上訓練にて町内の被害状況等の情報を関係機関で伝達している様子

日ごろから自然災害に備えよう

地震・津波の可能性

最近発表された地震長期評価では過去の津波の痕跡から根室半島や千島海溝で発生する地震発生間隔を平均340年から380年とし、今後30年以内に起こる確率として、M9以上の巨大地震が7%〜40%、M8は70%、M7については90%とかなり高い確率となる可能性を評価しました。

既に前回の地震から400年は経過しているため、明日大きな地震が起きてもおかしくない状況と言われています。

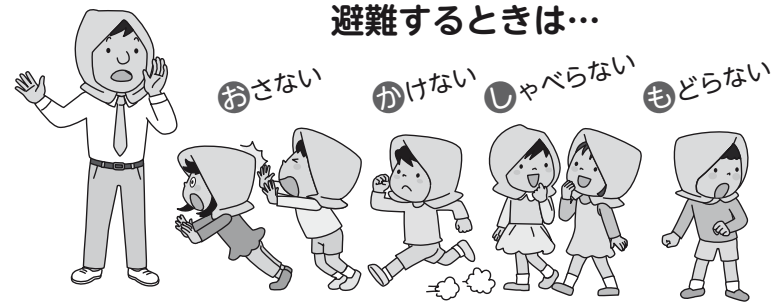


●今後30年以内の地震発生確率 (根室沖、色丹島・択捉島沖を抜粋)

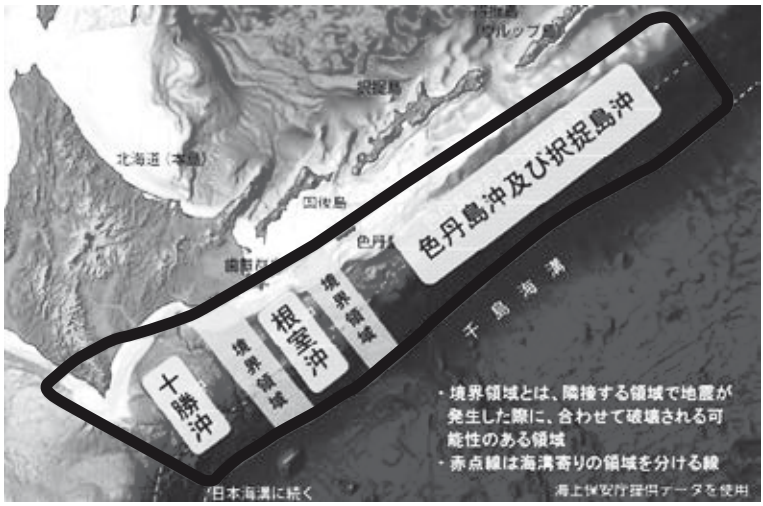
評価対象地震	発生領域	規模	確率
超巨大地震	十勝沖から択捉島沖	M8.8程度以上	7~40%
プレート間巨大地震	根室沖 色丹島沖及び択捉島沖	M7.8~8.5程度 M7.7~8.5前後	70%程度 60%程度
ひとまわり小さいプレート間地震	根室沖 色丹島沖及び択捉島沖	M7.0~7.5程度 M7.5程度	80%程度 90%程度

(出典：地震活動の長期評価(第三版)概要資料より)

避難するときは…



●十勝沖から択捉島沖までの震源境界領域



※千島海溝沿いの評価対象領域。
太枠はプレート間地震に関する評価対象領域となる。
(出典：地震活動の長期評価(第三版)概要資料より)

普段の備えが大事

自然災害を食い止めることは出来ませんが、日頃から防災対策をしておくことで、被害を少なくすることは出来ます。

前号の広報誌(5月号)のコラム、「防災知識第10弾」でもご紹介しましたが、「家屋の安全確認」、「持出品のチェック」、「災害時の連絡方法」、「避難する場所の確認」など家族でとるべき行動を確認しておく必要があります。

今回の防災訓練を通じて、家族でそれぞれがとるべき行動を確認できたとと思います。今後も災害に対し、しっかりとした備えをしておきましょう。

「幸福」と感じる町づくりを目指して…

羅臼町産業振興審議会 発足

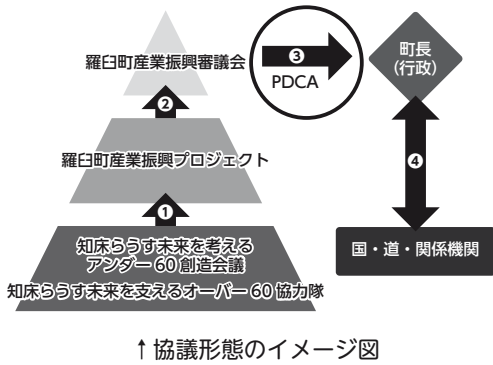
構成団体
(7団体)

- ◆羅臼漁業協同組合 ◆羅臼町商工会 ◆(一社)知床羅臼町観光協会
- ◆釧路信用組合羅臼支店 ◆羅臼町水産加工振興協会 ◆羅臼地区営農推進組合
- ◆大地みらい信用金庫羅臼支店

会長に萬屋 昭洋氏(羅臼漁協組合長)が就任

羅臼町産業振興基本条例に基づく「羅臼町産業振興審議会」が設置され、5月30日(水)に7名の審議会委員を委嘱いたしました。

ここ近年の社会情勢は、インターネットをはじめとするIT関連の発達や個々のライフスタイル等をみても急激な変化を遂げています。そして少子高齢化の影響は人口減少や担い手不足等に拍車をかけ、地域経済にも大きな打撃を与えています。このような状況下、羅臼町の基幹産業である漁業の低迷は依然として続き、



漁業に依存している当町の将来は危機的状況であると言わざるを得ません。

この審議会は、まちの重大な課題の一つである「産業の振興」を図るため、必要な産業振興施策に焦点を当てた審議を行うものです。漁協・商工会・観光協会をはじめとするオール羅臼(7団体)で構成され、本年11月中の町長への答申を目指して審議が行われます。羅臼町の基幹産業である漁業や観光業、商工業等の産業が安定することは、産業の活性化と雇用の場の拡大等へとつながり、「幸福」と感じるまちづくりへの近道となっていく予定です。

「自助(自分で自分を助ける)・共助(お互いに助け合う)・公助(皆で助け合う)」の考えに基づいた「協働のまちづくり」を基本に、水産業をはじめとする産業の振興が羅臼町の発展に大きく関わるということを町民皆様と共有し、羅臼町の



発展と地域経済の活性化を図ることを期待いたします。今後は、本審議会に提出する具体案作成等の実務を担う作業部会「羅臼町産業振興プロジェクト」(本審議会構成団体から2〜3名を推薦)を設け具体的な議論を行う予定です。

今後のスケジュール

- 7月18日 羅臼町産業振興プロジェクト会議
- 7月下旬 第2回知床らうすの未来を考えるアンダー60創造会議
- 8月上旬 第2回知床らうすの未来を支えるオーバー60協力隊
- 9月下旬 羅臼町産業振興プロジェクト会議
- 10月中旬 羅臼町産業振興審議会

※作業部会と審議会は必要に応じ定期的を開催する。

また、町民ニーズを広く反映させるため「知床らうすの未来を考えるアンダー60創造会議」「知床らうすの未来を支えるオーバー60協力隊」の意見等をベースに、羅臼に必要な産業振興策について町民一体となって探っていく予定です。

初期対応

羅臼町のヒグマ対応では、目撃や出沒があったからと言ってすぐに駆除はしません。まずは、大きな音やヒグマの体へ痛みを与え、ヒグマを追い払う作業を行い、人間のそばへ来てはダメだと学習させます。それでも頻繁に出沒し、人の生活環境を乱すヒグマやゴミ、干し魚に餌付いてしまったヒグマ、いわゆる問題グマを駆除しています（図1）。

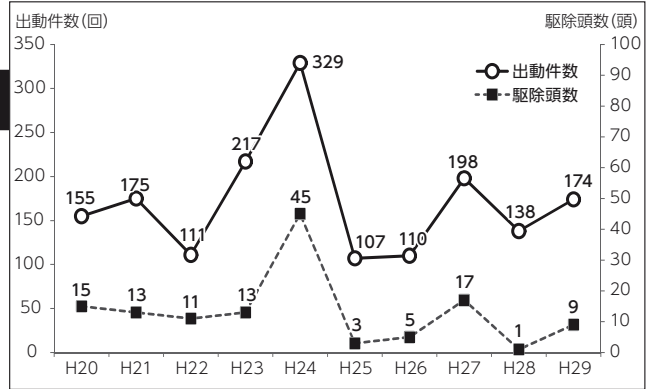


図1. 過去10年のヒグマ出動件数、駆除頭数

羅臼のヒグマ対応

今年もヒグマの目撃・出沒が増える季節となりました。役場では24時間体制で情報を受け付けており、夜間でも現場出動できる体制となっています。ヒグマ対応は**初期対応**が大変重要です。**問題グマ**を作り出さないために、皆さんのご協力をお願いします。

ヒグマを簡単に駆除しない理由

ヒグマは羅臼の自然環境を支える生態系の一部だからです。生態系は海も含め、いわゆる喰う喰われるの世界で、羅臼の漁業資源もその生態系の恩恵を受けて育まれたものです。生態系の一部を取り除くとバランスがくずれ、何かが増え何かが減る現象が起きます。つまり今の環境を維持できなくなるのです。今すぐではありませんが、子、孫の世代に、何らかの影響が出る可能性があるのです。



問題グマ

ヒグマは臆病な動物と言われ、ヒグマ自らが人間の生活圏を避けて生活しています。稀に自宅裏の藪の中や道路脇で植物を食べたり、道路を横断し海岸でヨコエビや海獣類の死体を食べたりします。その場合は山へ帰ることがほとんどで、危険性は高くありません。しかし、ヒグマは学習能力が高く、食べ物が有る場所へは何度も往来し、そのまま放置すると、人の近くは恐くないと思ひ、居住区域内を堂々と行動をするようになり非常に危険です。そのために、皆さんから通報を受け、初期対応で人との距離が近くなならないよう、嫌がらせを行っているのです。



図2. ヒグマに荒らされた生ゴミ箱



図3. ヒグマがシャッターを破壊し倉庫内に侵入した様子

問題は、外に出している生ゴミや干し魚などに餌付いてしまった場合。これは非常に危険です。「人の家＝食べ物」と学習したヒグマは、1軒目で生ゴミや干し魚が撤去されたとしても、隣の家で物色し、さらに隣の家へと渡り歩きます（図2）。十数キロ離れた場所までも移動することも珍しくなく、さらにエスカレートした場合は建物の中に侵入して荒らすこともあります（図3）。人がわざわざヒグマを誘引し、問題グマを作り出していると言っても良いでしょう。

できること

初期対応をする場合、特殊な道具を使用していますが、町民自身でも可能な取り組みがあります。皆さんに取り組んでいただくことができれば、ヒグマの出沒も減少しますし、初期対応もスムーズに行うことができますので、ご協力宜しくお願いいたします。

- 自宅裏斜面のフキなどを刈り払い、見晴らしを良くする。
- 生ゴミは外にださない。干し魚は日中のみ外で干す。または、建物の2階に干す。
- ヒグマを目撃したとき、出沒情報を聞いたときは役場へ通報する。

ヒグマ情報は役場代表(TEL 87-2111)または産業創生課(TEL 87-2126)まで、お願いします。

幼児の間食には栄養補給になるものを与えましょう！

幼児期（1歳～5歳）は大人と比べて胃が小さく、3回の食事では摂りきれない栄養を補うため、間食（補食）を利用しますが、羅臼町の子どもが早い時期からいちばん多く与えられている間食は「市販のお菓子やジュース類」です。そのため羅臼町では、子どもの時期から肥満やむし歯の多い状況があります。

★どうしてお菓子やジュース類を間食として食べ続けるとダメなの？

- ①市販のお菓子やジュース類は糖分・塩分・脂肪分・カロリー等が多く、肥満・やせ・むし歯になりやすく、将来、大人になって生活習慣病になる可能性もあります。
- ②体に必要な栄養素が補えないので発育・発達ざかりの子どもにとってよくありません。
- ③お菓子やジュース類はお腹が空きにくいいため、食事のむら食いや欠食につながります。

★適した間食の回数とは？

- ・ 1～2歳まで 1日1～2回を時間を決めて与える
- ・ 3～5歳まで 1日1回を時間を決めて与える



★適した間食は？（水分補給と栄養補給になるものを組み合わせる）

<p>むぎ茶 （水分補給になるもの） むぎ茶、水、牛乳</p>	+	<p>（たんぱく質、カルシウム、ビタミン、鉄を多く含んでいるもの） 乳製品、果物、野菜、大豆製品、芋類、穀類、卵</p>
---	---	--

今日から間食（補食）の時間を決めて、水分補給 + 栄養補給になる食品にしてみませんか？

～平成30年6月末現在特定健診受診者状況～
対象数：1,505名 受診者数：170名 受診率：11.3%

羅臼町役場 保健福祉課 栄養士
TEL 87-2161

子育て情報ひろば～すくすく～

ありんこは毎日月～金
9:30～11:30まで
火・水は午後も開放！



6月27日ミニミニ運動会

お父さんのラジオ体操、ゴールテープお手伝いありがとうございました。

*お父さんは仕事で日中の参加はなかなか難しいことと思います。そんな状況でも沖休みの日や振休の時など来てくれます。子どもが自立していくためには（自分で考えて行動できる）今この時期のかかわりがとても大事なのです。子育ての醍醐味をご夫婦と一緒に味わって下さい。

「この頃、風呂で遊んであがるって言わないんだわ！」とパパ。ついでの前までママから離れられない長女がやっとならぶと。笑。

子育て中のお母さんは、とにかくいそがしいのです。夜泣きのお子さんには寝ないで対応しなくてはなりません。離乳食が始まると食べることが知ってもらわなければなりません。ハイハイやつたい歩きとなると目が離せません。泣くのはわかるとだけ？わが子だけこんな手がかかると？など不安はいっぱいあります。大丈夫！手がかる子ほどいい子なのです。泣く子ほど伝えたい子なのです。信頼関係の土台を築いていくのです。ぜひ、ありんこにきて下さい。いっぱいわが子のかわいい姿を見せて下さい。

★ありんこは午前中毎日開放しています！（お母さん）

♪8月・9月のありんこ情報♪

☆ありんこ広場(0歳～3歳対象) ☆すくすく広場(1歳未満対象・妊婦さんの見学可) ☆のびのび広場(2歳～3歳対象)

8月1日 ありんこ広場	8月3日 すくすく広場	8月6日 ママの日♪	8月8日 ありんこ広場
8月13日 お盆休み	8月15日 ありんこ広場	8月17日 健康ヨガ教室	8月22日 ありんこ広場
8月24日 のびのび遠足	8月29日 春松幼稚園訪問	9月3日 ママの日♪	9月5日 羅臼幼稚園訪問日
9月7日 すくすく広場	9月12日 おまつりごっこ	9月19日 ありんこ広場	9月25日 計測
9月26日 ありんこ広場	9月27日 おはなし会	9月28日 のびのび広場	

- *健康ヨガ教室は事前に申し込みが必要です。3日前までにお申し込みください。
- *毎週火曜・水曜日の13時～16時30分まで一時預かりを行っています。事前にお申込み下さい。
- *お問合せ先：羅臼町子育て支援センター『ありんこ』TEL88-1515

知床らうす国保診療所通信

～みんなで育む・みんなの診療所～

①7月からの診療体制について

手塚誠所長は、2010年（平成22年）7月以来（途中一度退職）町立診療所時代からこれまで、通算約6年を超える期間、町民の健康を支えてこられました。残念ながら8月で退任されることになりました。これに伴いまして、8月1日より常勤医師が決定するまでの間、齋藤孝次（理事長）が所長となり運営して参ります。

尚、診療体制は当面の間、齋藤孝次所長の外、孝仁会グループ等からの出張医（小林孝先生、菊池徹先生、相馬勤先生等）が新たに加わり、羅臼の医療を支えて頂くこととなります。

又、7月以降の診療日程は、可能な限りこれまでの医療サービスと同様の対応をさせて頂きたいと思っておりますが当面、常勤医師不在により患者様には大変ご心配やご不便をお掛けすることもあると思っております。今日の医師確保の困難性など、へき地医療を取り巻く環境の厳しさについてご理解を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

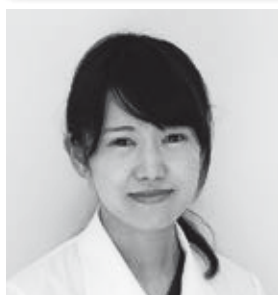


8月1日より、新所長として
就任する齋藤孝次先生

6年間、町民の健康を支えて
頂きました手塚誠先生



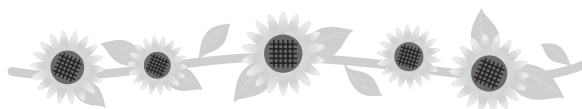
②松江市立病院から今年も初期研修医を受入【8月1日～】



高間 悠花先生

今年も島根県松江市立病院より、2016年（H27年）に松江市立病院と締結した「研修医の出向契約」により、当診療所が初期研修医を受入れるもので、今回で3回目となります。今回、研修医として着任される、高間悠花先生は、へき地医療を学ぶため約1ヶ月間にわたり当診療所で研修する予定となっています。

「どうぞ宜しく
お願い致します。」



③救急車の適正利用

急な病気やケガをした際、「診療所に行った方がいいのか」「行かならば救急車を呼んだ方がいいのか」「自分で病院や診療所を受診した方がいいのか」「どのぐらい急いで受診した方がいいのか」などについて判断するのはなかなか難しいものです。

しかし、救急車は緊急時に必要なものです。緊急ではない時に救急車を要請すると、本当に救急車を必要としている人に対し適切な救命処置等が遅れて、救える命が救えなくなる心配があります。

町民の皆様も、救急車の適正利用にご協力願います。



～予約・お問合わせ～ 知床らうす国保診療所 TEL87-2116



羅臼町子ども読書活動推進計画について

子どもの読書活動のための取り組み

子どもの読書活動なぜ必要？

国は「子どもの読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる上で欠くことのできないものであり、社会全体でその推進をはかっていく必要がある」と定めています。(平成13年子どもの読書活動の推進に関する法律)

羅臼町教育委員会では「北海道子どもの読書活動推進計画(第4次計画)を参考に、本計画を3月末に策定しました。その概要をお知らせします。



計画の特色について

本計画の特色は2つあります。
1点目は、地域の課題である生活習慣の改善と読書習慣の定着を結びつけながら、子どもの読書活動を推進すること。

2点目は、学校図書館に司書資格を持つ事務職員を配置し、子どもにとって一番身近である学校図書館の整備を進め、公民館図書室との協力体制を深めることです。

これらを進めるためには家庭・地域・学校が協力して子どもたちの豊かな育ちを支える読書環境づくりを図っていくことが必要です。

羅臼町の子も達が読書を通じて人生をより深く生きる力を身に付けていけるよう読書活動の推進と環境整備に町民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

●基本目標1

家庭・地域・学校等を通じた社会全体での子どもの読書活動の推進

推進方策①

家庭における読書活動の推進

テレビやメディアの時間を見直し、それぞれの家庭に合せた家族とのふれあいの中で本にふれる体験を持つ

具体的施策・事業

絵本リストの配付、読み聞かせ事業、らうす寺子屋kids、ブックスタート事業、講演会、家庭教育支援事業など

推進方策②

地域における読書活動の推進

地域にある「子どもに関わる施設」を通じて保護者に対して読書に親しむ意識の啓発を図る



具体的施策・事業

移動図書館バス巡回・貸出、PTA等の研修会、学級文庫貸出、学習活動や読書活動への支援など

生活習慣の定着、食育と読書活動を連動させた事業



らうす寺子屋kids
開始年度H28～

★公民館図書室主催★

子育て支援事業(予告)

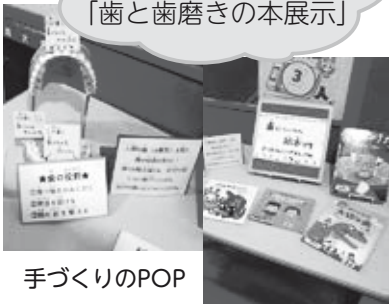
【講演】「イライラしない子育て～しおちゃんの絵本セラピー～」

【講師】笑華尊塾 塩谷隆治氏

【日程】10月1日(月) 予定

【場所】羅臼小学校2階多目的ホール

展示コラボ(春松小)
養護教諭と学校司書が
「歯と歯磨きの本展示」



手づくりのPOP

- 推進方策③**
学校等における読書活動の推進
- 読書活動の推進～子どもが多くなる時間を過ごす幼稚園や学校で年齢に応じた読書体験が出来るよう教員や保護者に活用を促す
 - 学習活動の充実～学校図書館の活用を促す
 - 読書活動の普及・啓発～学校図書館だより、学校ホームページ、校内掲示など
 - 具体的施策・事業
PTA読み聞かせ活動の連携支援、「朝の読書の時間」推進、教育活動に必要な本の購入・貸出

学校図書館の魅力アップ！ 充実に向けた羅臼町の取り組み



基本目標2

子どもの読書活動を推進するための読書環境の整備

推進方策①

地域における読書環境の整備

図書館は、子どもが沢山の本と出会い自由に出入りができる公的な教育機関。羅臼町においては、公民館図書室が継続的に安定した運営を行うことが望ましい。

○読書環境の整備～オンライン検索システムの導入による利用促進、読書意欲の向上を目指す

推進方策②

学校図書館等における読書環境の整備

具体的施策・事業

- 資料等の整備～古い本の廃棄・更新で魅力化
- 設備等の整備～図書目録のデータ化
- 教職員の配置及び効率的な運営～学校司書の配置、資質向上



展示コーナーの設置で本の魅力をアピール

★バーコードを貼る作業などは、各校PTAのご協力をお願いいたします。

推進体制の整備・充実

推進方策①

関連機関との連携・協力

子どもの読書活動の推進に関わる機関や団体には保育園・幼稚園、学校、子育て支援センター、放課後児童クラブ、ボランティア団体、PTAなどがあり、教育委員会や保健福祉課が運営に携わっている。

子どもの生活全般に関わるこれらの関係機関や団体と相互に情報交換や交流を深め、子どもの自律と家庭教育を支援しながら読書活動を効果的に推進する。

鍵となる 学校司書の配置

これまで学校図書館業務は、校務を担う教員に任されていたため本来の機能を十分果たすことが難しい現状にありました。本計画をより具体的に進めるためには鍵となる人が必要と考え、道教委に申請し学校図書館業務を専門に行う事務職員を配置することができました。

司書資格を持ち公民館図書室に勤務した経験がある黒田恭子さんが、3校を巡回しながら業務に励んでいます。学校司書の業務は多岐にわたっており、授業に必要な資料の手配、学校行事に因んだ展示コーナーの設置、新聞記事の掲示、データベース化も手掛けます。

児童に読み聞かせをする
黒田さん



あしたへつながる防災知識

第11弾

大雨時に最新の情報を収集するためには

今年度も夏季の出水期が訪れようとしています。6月の段階ですでに、九州地方などでは大雨警報や土砂災害警戒情報が発令された事案が発生しています。町ではそういった事案が発生する前に情報提供や周知を行える様に努めておりますが、個人でも災害等に対する最新の情報を収集することが大切です。気象庁のホームページではリアルタイムな気象情報や数時間先の雨量などがわかりやすく表示されています。今回は気象庁のどのページを見ればどのような情報を入手できるのか、一部ではありますが説明いたします。

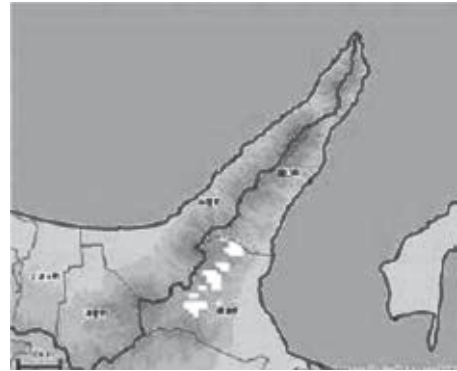
土砂災害警戒判定メッシュ情報

土砂災害警戒判定メッシュ情報は、大雨による土砂災害発生の危険度の高まりを、地図上で5km四方の領域ごとに5段階に色分けして示しています。常時10分毎に更新しており、土砂災害警戒情報や大雨警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



大雨警報(浸水害)の危険度分布

大雨警報(浸水害)の危険度分布は、短時間強雨による浸水害発生の危険度の高まりの予測をしており、大雨警報(浸水害)等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを面的に確認することができます。



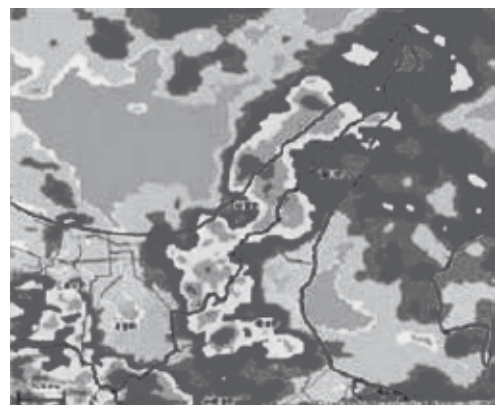
洪水警報の危険度分布

洪水警報の危険度分布は、指定河川洪水予報の発表対象ではない中小河川の洪水発生の危険度の高まりの予測を示しており、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まるかを面的に確認することができます。



高解像度降水ナウキャスト

250m四方の領域単位で30分先までを5分間隔で示しています。さらに雨が強く降っている箇所を色分けし、一目で雨の強い区域を見分けることができます。



今回、ご紹介したもの以外にも気象庁のホームページでは様々な気象・防災情報が掲載されていますので、有事の際にはご利用してみてください。

気象庁ホームページ URL : <http://www.jma.go.jp/>



QRコード



Rausu's Adventure

～地域おこし協力隊大石が行く 羅臼探険隊～

『知床開き』という言葉を知ったとき（知床開きって？いったい何のことだろう。海開きや山開きは知っているものの、知床開きっていったいなんのことだろう。漁の解禁日のこと？）と心の中で模索したことを覚えています。僕の知床開きは、ここから始まりました。まさか町内の祭りのことだとは思ってもみませんでした。

知床開き前夜祭。まず、驚かされたのは『羅高生によるよさこい』。自信に満ちあふれ、生き生きとした表情や姿に心を打たれました。The青春という感じで、見ているだけで元気をもらいました。1つのことに熱くなれることは、改めて素晴らしいことだと感じました。会場に到着すると大漁旗が風に揺られており、会場の雰囲気盛り上げていました。炉端会場では、羅臼の様々な海産物が焼かれており、食欲をそそる香りと楽しげに会話する声があがっていました。おいしさのあまり、きっと会話がはずんでいるだろうと見ているだけでも伝わってきました。この日一番驚いたのは、『綱引き大会』。町内対抗のよくある綱引き大会を想像していたため、強面の面々が綱引きのために専用シューズを揃えていることに驚かされました。また、どの町内も勝ち気にあふれていて、その迫力に圧倒されました。日が落ち、暗くなり始めると会場の雰囲気が日中とは様変わり。夜の雰囲気もまた趣があるとしみじみ感じました。夜のステージでは、郷土芸能である『知床いぶき樽演奏』が特に心に残りました。和太鼓の演奏はよくありますが、樽演奏は初めてだったので、最後まで見続けてしまいました。「伝統を大切にすること」は、子どもたちの心にもきっと響いているのではないかと思います。前夜祭フィナーレをかざる『花火大会』では、夏を先取りという気分になりましたが、夜はさらに冷えかかなりの寒さでした。しかし、花火が上がっている間だけは寒さを忘れることができました。やはりそう思えたのは、間近で花火が上がったことや人混みを気にせずゆったり見ることができたからではないかと思っています。

2日目の当日祭。『千人踊り』からスタートし、色とりどりの浴衣が羅臼町を明るくしました。踊っている方々の笑顔が見ている方々の笑顔を誘い、さらに町が明るくなったのではないかと思います。当日祭の最後を飾った木山さんの歌声や人柄には大いに感動しました。観客の心に響く語りかけは、木山さんの生き方があるからこそなんだろうと感じました。自分の生き方はどうだろうかと改めて考え直す機会になりました。

羅臼町の新たな魅力を感じる2日間となり、来年の知床開きが楽しみになりました。来年は、今年体験したことを踏まえ、さらに多くの人に来てもらえるよう情報発信に力を入れていきたいと思っています。



ぜひ羅臼町の応援サポーターになってください。
あなたが見てくれるだけで羅臼町が変わります！

羅臼町公式 SNS

Facebook

Instagram

Twitter

YouTube



小さな一歩から始めませんか？



城下町のわだい

みんなでまちづくり

町では協働のまちづくりを推進しています。

ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を実践している方々を中心に取り上げ掲載して行きたいと考えています。

みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

5月30日(木)

継続的な ご厚意に感謝

今年も北海道コカ・コーラボトリング(株) (佐々木康行社長)より町内の自動販売機の売上金の一部「283,404円」を知床・羅臼まちづくり基金の「知床の自然保護・保全に関する事業」に寄付していただき、寄付贈呈式が行われました。



この寄付は、平成20年より継続して行われており、今年で総額「3,550,147円」の寄付をいただいております。ありがとうございます。

5月30日(木)

五連覇達成 乳質改善最優秀賞 〜羅臼営農推進組合〜

峯浜地区で酪農を経営し、9戸で組織している「羅臼営農推進組合」は、平成29年度の乳質改善において顕著な成績を収め、団体の部で最優秀賞を受賞しました。永年にわたる努力が報われた結果であり、今後更なる活躍を期待いたします。



6月16日(土)・17日(日)

第57回知床開き

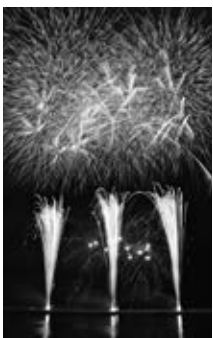
〜知床の空に
打ちあがる大輪〜

曇り空の肌寒い中、羅臼高校生による「よさこい」からお祭りはスタートしました。

前夜祭最大のイベント「花火大会」では、澄みわたった夜空に、次々に花火が打ちあがり、会場内を魅了し、フィナーレを飾りました。

当日祭では、「千人踊り」から始まり「ドッジボール大会」と続き、ステージイベントでは「White Explosion」「木山裕策」らが披露され、その歌声にグッと惹きつけられ、会場からは大きな拍手が送られました。

「ご参加・ご協力くださった皆さんのおかげで今年も素晴らしい「知床開き」を開催することが出来ました。ありがとうございます。



6月21日(木)



知床未来中の名を背負い全国へ

6月17日に北広島市で開催された北海道中学生空手道選手権大会に出場した、知床未来中学校の松山夢希さん(3年)、野地一颯さん(2年)、村田颯徳さん(2年)の3名の選手達が、団体形の部で準優勝に輝き、全国大会への出場を決めました。

普段は、羅臼空手道クラブで活動している3名ですが、知床未来中学校の代表として今大会の出場を果たし、空手経験や学年は異なるものの、小川雅勝監督の指導の下、大会当日は息のあった形を披露されました。



全国大会は、8月17日から3日間かけて宮崎県で行われる予定です。町長表敬訪問の際は、「一つでも多くの勝利を目標に頑張ってください。」と強い意気込みを語ってくれた3名。練習から大会当日まで町民皆さんで応援していきます。

6月29日(日)



「初の全道大会へ向け」

野球少年団「羅臼キラールホエールズ」(長谷川雄紀監督)の皆さんが来庁し、7月14日より開催される「第39回スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会」に出場することを町長に報告しました。

野球少年団は、平成27年秋に羅臼小学校と春松小学校の少年団が統合し、チーム結成3年目となります。初の全道大会出場へ向け、キャプテンの杉山颯汰さんは「チーム一丸となって全力でプレーしてきます。」と意気込みを語りました。

なお、出場結果は惜しくも一回戦敗退となりましたが、今後は8月に開催される太陽新人戦を目標に、全道で先輩たちが逞しくプレーする姿を目に焼き付けた後輩たちがバトンを受け継ぎ活動するそうです。

皆さんお疲れ様でした。



7月5日(木)



長い間
お世話に
なりました。

知床らうす
国民健康保険

診療所の常勤医兼所長の手塚誠所長が7月末で退任されることが決まり、中標津警察署より警察検案嘱託医として、死因究明等の捜査協力を行ってきたことから感謝状が贈られました。

約6年間にわたり、羅臼町の医療を支え続けてくれた手塚誠所長。長い間ありがとうございました。





7月6日(金)

第44回羅高祭

行灯行列
今年も実施

昨年からの復活した行灯行列が今年も高校生により実施されました。

今年は、多くの町民の皆さんにお披露目するためのコース変更を行い、公民館をスタート地点とし、役場道の駅を経由し、高校校舎まで総勢97名で町内に灯りをともしてくれました。

平成30年度 年長さんでむし歯のなかったお子さん

住所	対象者氏名	住所	対象者氏名
峯浜町	ナカヤ トモカ 中谷 友香 ちゃん	礼文町	ナカヤ リュウセイ 中谷 龍晴 くん
春日町	サカモト ユキト 坂本結輝斗 くん	緑 町	ノトリ リカ 野戸梨々夏 ちゃん
麻布町	アシザキ オリト 芦崎 織人 くん	栄 町	シマクラ カズハル 島倉 一遙 くん
	イノウエ リア 井上 莉愛 ちゃん		ニシモト サキ 西本 早希 ちゃん
	サイトウ メイ 齊藤 芽依 ちゃん		ミヤシタ カナデ 宮下 花奏 ちゃん
知昭町	イザワ ウタ 伊澤 詩 ちゃん	湯ノ沢町	ミヤコン ツナブ 宮腰 維 くん
	カワムラ カノ 川村 叶祈 ちゃん	岬 町	アリムラ ユキナ 有村優樹菜 ちゃん
	サワ ダイゴ 澤 大悟 くん		
	ヤマウチ セイガ 山内 清雅 くん		



7月9日(月)

むし歯のない子の表彰式

し歯のなかった子の表彰式が行われました。今年度、むし歯のないお子さんは16人でした。これから生えてくる大人の歯も、健康に保っていきましよう。



大地みらい信用金庫からの寄付で道の駅備品を整備

平成27年度に大地みらい信用金庫様から羅臼町の観光振興にと寄付金300万円をいただいております、平成29年度にその一部を活用し、道の駅内部の整備をさせていただきました。

道の駅は平成11年に建設以降、内壁塗装の劣化なども進み、毎年少しずつ修繕を行ってはありましたが、現在の来訪者のニーズに合わない部分もあり、新たな整備が必要とされていたところです。そのような中、大地みらい信用金庫様から寄付をいただき、その活用方法について関係団体と協議した結果、要望はされていたものの手つかずであった道の駅内の整備に活用することとなりました。内容としてはコインロッカーの設置やトイレの洋式化等です。これらを整備できたことで、道の駅の観光拠点化が一層進み、来訪者の利便性が向上することとなりました。

寄付金残額については、今後も道の駅内の整備等に利用させていただきます。

整備内容

- ・コインロッカー設置 137千円
 - ・トイレ洋式化 1,237千円
 - ・観光案内所アコーディオンカーテン設置 295千円
 - ・壁面補修ホワイトボード整備 562千円
 - ・パンフレットラック設置 40千円
- 合計2,271千円



TAXコラム

(税務財政課通信)



「町税及び国保税の第1期分の納税は、お済みですか？」

平成30年度分の町税及び国保税の第1期分の納税は、お済みですか？

納期限を過ぎて納税した場合、遅れた日数に応じて延滞金が加算される場合がありますので、納付がお済みでない方は至急納税するようお願いいたします。

「町・道民税は特別徴収が便利です！」

根室振興局と羅臼町では、従業員の利便性向上と税負担の公平を図るため、特別徴収の拡大に向けた取組みを進めています。

町・道民税の特別徴収とは

町・道民税の特別徴収とは、事業主が、所得税の源泉徴収と同様に、納税義務者である従業員に代わって毎月支払う給与から町・道民税を徴収し、役場に納入していただく制度です。

所得税のように税額計算等をする必要がありませんし、従業員の方々にも様々なメリットがありますので、特別徴収を未実施の事業主の方は、特別徴収への切替えをお願いします。

従業員の方々のメリット

- ・1回あたりの負担が少なくなります。
1年分の納税が12回に分けられ、普通徴収(年4回)に比べて納めやすくなります。
- ・金融機関や役場窓口等へ納税に出向く手間がかかりません。
- ・毎月の給与から天引きされますので納め忘れがなく、滞納や納税証明が発行できないことを防ぐことができます。

【7・8月の夜間窓口】

〈7月〉 7月31日(火) 午後7時まで

〈8月〉 8月31日(金) 午後7時まで

※7・8月は、休日窓口を休止いたします。

＜お問合せ先＞

役場税務財政課 TEL 87-2113

平成30年度第2回 北海道警察官採用試験の受験者募集

○受付期間

7月2日(月)～8月24日(金)

※電子申請による場合は8月24日(金)の午後5時30分まで

○試験日

9月17日(月・祝)

※中標津警察署で受験可能です

○採用予定人員

男性A区分 45名程度

女性A区分 10名程度

男性B区分 110名程度

女性B区分 35名程度

○募集区分

・男性・女性A区分

学校教育法による大学(短期大学を除く)等を卒業した方

(平成31年3月末日までに卒業見込みの方を含む。)

・男性・女性B区分

A区分以外の方

○募集年齢

A・B区分とも昭和61年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた方

(平成31年4月1日で18歳以上33歳未満)

○問合せ・願書配布先

中標津警察署警務課 (☎0153-7210110)

○願書受付先

中標津警察署

北海道警察本部採用センター(郵送可)

寄付・寄贈
ありがとうございました

〔知床未来中学校備品
スリッパ収納棚〕

(有) なりた 様

〔道の駅知床・らうす設置
ベンチ4台〕

(一社)北海道建築士会
中標津支部 様

〔その他、目的達成のため
に町長が必要と認める
事業〕

加藤 隆榮 様

〔地域資源を活かした活
力ある産業のまちに
関する事業〕

宗教法人
念法眞教 様

(平成30年5月11日～
7月10日受付分掲載)



おくやみ申し上げます



(敬称略)

赤ちゃん誕生



(敬称略)

羅臼いさり火吟社

6月例会句
平成30年6月

オフィリアの流れし川か花後

悠羅

新茶汲む職退ひてはや三月

鹿山

隣家より孤老も招き新茶淹る

泥舟

ハ女新茶方丈香筆の香を残し

羅牛

白南風や岬へ急ぐクルーザー

英美

潮風や葉桜の揺れおさまらず

日奈

俳句同好会「羅臼いさり火吟社」では投句を募集致します。住所・氏名・年齢・電話番号を明記し送付していただくか、左記までお問い合わせ下さい。

〒086-1823 羅臼町栄町

羅臼いさり火吟社 宮腰 實

(電話)0153-87-3758

人の動き

平成30年6月末現在 ()内は平成30年5月末対比

人口 5,080人 (- 7) 男 2,516人(- 8)
世帯 2,071世帯(+ 1) 女 2,564人(+ 1)

編集後記

今年の知床開きでは、キレイな花火を観ることができ感激しました。会場内では、音楽に合わせて打ち上げられる花火を楽しむことができます。今年の楽曲は、思わず口ずさみたくなる「コブクロ」の「流星」でした。この日にカラオケに行かれた人は歌わずにはいられなかったのではないのでしょうか。

8月に差し掛かり、本格的な夏が到来します。短い羅臼の夏をそれぞれ怪我なく楽しんで過ごしてください。(A)

羅臼町民憲章

(昭和45年9月15日制定公示)

わたくしたちは、雄大な知床連峰と、オホーツクの海原の大自然にはぐくまれた、羅臼の町民です。

- 自然を愛し先人の強い意志をうけつぎます。
- 健康で明るくたのしい家庭をつくります。
- 教養を高め、豊かな情操を育てます。
- 仕事に誇りをもち、はたらく喜びに生きます。
- 子どもたちの夢と、若い力を育てます。



世界自然遺産のまち・知床羅臼町

■広報らうす 平成30年7月号

編集／羅臼町 企画振興課 企画振興係
〒086-1892 目梨郡羅臼町栄町100番地83
☎0153-87-2114
<http://www.rausu-town.jp/>